

麦類赤かび病の防除時期について

本年は、暖冬の影響により麦類の出穂が早まっています。農業技術センターにおける小麦の出穂期は、平年と比較して「イワイノダイチ」では10日早く、「さとのそら」及び「タマイズミ」では9日早くなっています（表1）。そのため、赤かび病の防除時期も平年より早くなると予想されます。また、すでに赤かび病の「子のう殻形成好適日」及び「子のう胞子飛散好適日」の出現が複数日で認められています（表2）。

気象庁の1か月予報（4月8日発表）では、気温は平年並～高く、降水量は平年並と予想されており、赤かび病感染に好適な条件となる恐れがあります。ほ場の生育状況を確認し、防除適期である開花盛期（出穂期から7～10日後）とその10日後の2回防除を徹底してください。

表1 小麦生育状況

品種	出穂期	播種日
イワイノダイチ	3/30（平年4/9）	10/31
さとのそら	4/4（平年4/13）	
タマイズミ	4/3（平年4/12）	

* 農業技術センター作物部調べ

表2 子のう殻形成好適日及び子のう胞子飛散好適条件発生状況

	子のう殻形成好適日 ¹⁾				子のう胞子飛散好適日 ²⁾			
	R3	R2	H14	H10	R3	R2	H14	H10
3月26日					▲			
3月27日		●				▲	▲	▲
3月28日	●	●		●	◎	▲	▲	◎
3月29日	●		●		◎	▲	▲	
3月30日			●		△	▲	▲	
3月31日			●			▲	▲	
4月1日		●				◎		▲
4月2日					△	▲		▲
4月3日					△		△	▲
4月4日	●				◎		△	
4月5日	●				◎			
4月6日			●	●	▲		▲	◎
4月7日	●		●	●	◎		◎	◎
4月8日	●		●	●	▲		◎	▲

* 岐阜市基準（岐阜地方気象台調べ）

- 1) 子のう殻形成好適日
●: 降雨直後(当日及び翌日)かつ平均気温が13℃以上であった日
- 2) 子のう胞子飛散好適日
◎: 濡れ条件と温度条件を両方満たした日
▲: 濡れ条件のみを満たした日
△: 温度条件のみを満たした日
※ 濡れ条件: 降雨直後(当日または翌日)または湿度が80%以上
温度条件: 最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上
- ※ 平成10年は警報、平成14年は注意報を発表した年度です。

・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農林水産消費安全技術センター

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>